

国会調査団きまる

水俣病一二日現地に到着

深刻化してきた水俣病問題に対し

国会でもこの解決をはかる動きが

起り、国会派遣の現地調査団が一

日午後熊本に着く。衆議院の関係

各委員会では、熊本選出議員の要

請もあつて、二十九日午後派遣議

員の人選を行ない、正式に決定し

た。一行は農林水産、社会労働、

商工の三委員会代表八人と厚生、

通産、水産、経済企画の各関係省

庁代表四人、党派選代議士二人の

計十五人で、この現地派遣により

水俣病対策が今臨時国会で取りあ

げられることはほぼ間違いない見

通しとなった。

一行の行動予定は三十一日東京

駅発の「はやぶさ」"あさか

ぜ" "さくら"に分乗、一日午

後に全国着熊し、県庁で県議

会、熊本、県漁連などから報告

を聞き、対策を打合せる。二

日は午前中に水俣へ向い現地の

視察、調査を行なつて湯之見泊

り。翌三日もひきつづき調査の

あと現地で解散する予定。調査

派遣団の構成はつぎのとおり。

【農林水産委】▽松田鉄蔵(自・

北海道)▽高石幸二郎(自・埼

玉)▽丹羽兵助(自・愛知)▽赤

路友蔵(社・鹿児島)

【社会労働委】▽柳谷清三郎(自

・秋田)▽五島虎雄(社・兵庫)

【商工委】▽木倉和一郎(自・千

葉)▽社党一人未定

【厚生省】高野食品衛生課長

【通産省】藤岡工業用水課長

【水産庁】曾根研究第一課長

【経企庁】古沢水質保全課長

【党派選】▽福永一臣(自・熊

本)▽坂田道太(自・熊本)▽川村

継義(社・熊本)